

第199回 暮らしのSDGs学習会 報告

会議年月日	令和6年6月14日	時間	13:30~14:30	会場	生涯学習センター
出席者	増永、吉永、横田、難波、平手、大塚、小川、筒井、石垣（講師、報告）				
	外部からのご参加 松島様（2名）、輿石様、栴沢様				
1, 日時	2024年6月14日 13:30~14:30				
2, 会場	流山市生涯学習センター 大会議室				
3, 講師	石垣幸子（OBN会員）				
4, テーマ	私たちの身近な川との関わり				
5, 内容	<p>1, 川とは地表面に落下した雨や雪などの天水を集めて、海や湖に注ぐ水路の事である。</p> <p>人々は川を統御しながら川を利用してきた。川は飲料水の他、農業用水、工業用水、発電用水、そして私達の生活用水など色々な用途をもっている。</p> <p>2, 戦後は産業の発達、人口の首都圏集中、そして生活様式の変化などにより水の需要が高まってきた。流山市の水道事業は昭和38年開始。北千葉広域事業団が江戸川の水を取水し、各家庭や工場へと供給している。</p> <p>東京都の水事情は、昔、江戸を洪水から守るため利根川を東に追いやった。戦後の水需要の増加は、利根川の水を呼び戻すことで、武蔵水路掘削により利根川の水は300年ぶりに江戸城下を流れ、都民の喉を潤すこととなった。</p> <p>3, 世界は地球温暖化の影響による異常気象が深刻となっている。川はその影響を一番に受ける。現在は治水対策として、堤防やダム建設、遊水地などの対策が進んでいる。</p> <p>ダムの役割 ①水を貯える。②洪水を防ぐ。③電気を作る。</p> <p>近年は再生可能エネルギーとして、発電に使った水をもう一度汲み上げて使う、という揚水式発電所の取り組みが始まっている。</p> <p>うちつづく異常気象の中、水資源として川を頼る私たちは、いかにして、川をなだめ、治めていくかを考え、生物多様性を誇る豊かな河川の保全を目指したい。</p>				
次回の予定	第200回記念、SDGs学習会	7月19日（金）	流山おおたかの森ホール		